平成31年第1回瑞穂町議会定例会議案・陳情

全会一致で可決された議案

		WC 10cmx
議案	第1号	瑞穂町教育基本計画審議会条例
議案	第 2 号	瑞穂町いじめ問題調査委員会条例
議案	第 3 号	瑞穂町個人情報保護条例の一部を改正する条例
議案	第 4 号	瑞穂町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案	第 5 号	瑞穂町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案	第 6 号	瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 「同様収する
議案	第 7 号	瑞穂町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
議案	第 8 号	瑞穂町児童育成手当条例及び瑞穂町心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
議案	第 9 号	瑞穂町介護保険条例の一部を改正する条例
議案	第 10 号	瑞穂町下水道条例の一部を改正する条例
議案	第11号	瑞穂町減債基金条例を廃止する条例
議案	第 12 号	新庁舎建設工事請負契約の変更契約について
議案	第 13 号	平成30年度瑞穂町一般会計補正予算(第6号)
議案	第 14 号	平成30年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案	第 15 号	平成30年度福生都市計画瑞穂町箱根ケ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
議案	第 16 号	平成30年度瑞穂町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案	第17号	平成30年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案	第 18 号	平成30年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案	第 20 号	平成31年度瑞穂町国民健康保険特別会計予算
議案	第21号	平成31年度福生都市計画瑞穂町箱根ケ崎駅西土地区画整理事業特別会計予算
議案	第 22 号	平成31年度瑞穂町下水道事業特別会計予算
議案	第 23 号	平成31年度瑞穂町介護保険特別会計予算
議案	第 24 号	平成31年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計予算
議案	第 25 号	平成31年度瑞穂町殿ケ谷財産区特別会計予算
議案	第 26 号	平成31年度瑞穂町石畑財産区特別会計予算
議案	第 27 号	平成31年度瑞穂町箱根ケ崎財産区特別会計予算
議案	第 28 号	平成31年度瑞穂町長岡財産区特別会計予算
議員提出議第	第1号	瑞穂町議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例

賛否の分かれた議案等

○…賛成·採択 ×…反対·不採択 退…退席 継…継続 欠…欠席 ※議長は採決には加わりません。

件名		自 民										公 明			共産	国民	1 結果
		森	原(成)	石川	髙水	村山	吉野	村上	古宮	山﨑	小川	下野	原(隆)	近藤	大坪	齋藤	和未
町提出議案	議案第19号 平成31年度瑞穂町一般会計予算	0	欠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	可決
陳 情	31陳情第2号 アスベスト被害者補償基金制度の 創設と全面解決を国に働きかける 意見書提出を求める陳情	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	×	不採択
	31陳情第3号 介護保険制度の改善を求める陳情 書	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	×	不採択
	31陳情第4号 後期高齢者医療の一部負担金の割 合を引き上げないよう求める陳情 書	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	×	不採択



09 ギカイのひろば Vol.219

自民: 自民新政会 公明: 公明党 改革: 改革みずほの会 共産: 日本共産党 国民: 国民民主党

※全ての議案・陳情の詳細はHPでご覧になれます。

pickup はP4に詳細を掲載してあります。

議員間討議を実施しました

この討議は、平成31年度当初予算案について、町側からの予算編成方針、予算の根拠や必要性など説明 を受け、3日間にわたり予算審査を行い、その結果、4日目に予算規模や必要性など疑義がある項目を抽 出して、行ったものです。

今年度は2項目に対して活発な議論を行いましたので、その内容をお知らせします。

高額納税者が有利な制度に なっている。

町は返礼品を付けないとの姿勢を示している。 なぜ行わないのか発信すべき。

町のブランドや特産品を返 礼品にすれば、全国にPRで きる。農・商工業・観光の 活性化につながる。

制度そのものが 問題である。

返礼品合戦は本来の主旨と 異なっている。返礼品をや める自治体もあると聞く。

ふるさと納税について

住民からも返礼品をつ けてほしいとの声が上 がっている。

他自治体へふるさと納税する住民が増え続けてい て、町に入るべき税収が減っている。町の収入が増 える手立てを考えるべき。

約1300万円の税収減と なっている。このまま でいいのか。



蓄電池は災害時にも有益で ある。助成は必要。

太陽光発電システムやエコキュートなどの啓発は進 んだが、蓄電池などはこれからでは。

太陽光発電システムは、い ずれ売電が終了すると聞い ている。蓄電池の設置が必 要になってくるのでは。

住宅用創エネ設備・省エネ機器 購入費助成金について

助成制度の目的は一定 程度達成されたが、蓄 電池やHEMSはまだ助成 が必要。

蓄電池は設置費用が高額 なので、利用者が少ない のでは。

町民からの要望や必要性につい て、継続して調査が必要。

本来この制度は30年度までの計 画であったはず。一度終了して 国や都の動向を注視するべき。



議員間討議終了後、採決を行いました。その後、最終日の本会議において、予算特別委員会委員長が 審査結果及び討議内容を報告しました。